

# 運動に対する意欲向上を目指して

楽しみながら「運動意欲」を高めるために

## 1. 体力テストの現状と課題

全学年を通して、豊田市平均を上回る種目は数多くあった。特に、1年生、4年生、6年生においては、男女ともほぼ全ての種目で豊田市平均を上回ることができた。一方で、2年生と3年生のソフトボール投げや、5年生のシャトルランなど、市平均を大きく下回ってしまっている種目もある。学年ごとに大きな差が出ているのには様々な要因があると思うが、猛暑による運動機会の減少や、下校後や休日の電子機器の使用時間増加により、外で遊ぶ時間が減少したことが考えられる。

上記の現状から、本校の運動能力を伸ばしていくためには、「楽しみながら運動する機会を増やし、運動そのものを好きになること」が必要だと考え、学校全体として児童たちがたくさん体を動かすことができるような環境をつくる必要があると考えた。

## 2. 実施内容

### (1) 教科体育での実践

#### 【継続した運動時間の確保】

4月の段階で各担任と、体育の授業中の教師による説明や、作戦や目標を決める時間等をできるだけ短縮し、できる限り体を動かす時間を多く確保することを共有した。これにより、一人一人が体を動かす時間が必然的に増え、運動量を確保することができた。また、運動時間が増えたことで、授業を楽しみにする児童が増えていった。



#### 【タブレットを利用する児童たち】

#### 【課題発見、解決のための ICT 機器の活用】

自分の動きを客観的に見ることはなかなかできない。そこで、教師、または子どもの学習用タブレットで運動する様子を撮影し、動きを確認するようにした。その結果、自分やチームの仲間の動きの課題に気付き、改善するための方法を考え、練習に取り組むことができた。また、自分の動きと理想の動きの溝が埋まり、技術の向上にもつながった。

### (2) 教科外体育での実践

#### 【走り方教室、サッカークリニックの実施】

専門的な知識をもった講師の方から指導を受ける機会を設定した。

#### ① 走り方教室

短距離走でオリンピックにも出場した選手を講師に招き、走り方の指導を受けた。



#### 【 走り方教室の様子 】

#### ② サッカークリニック

名古屋グランパスから講師を招き、サッカー技術の向上を目指したり、体の動かし方を教えてもらったりした。



#### 【 サッカークリニックの様子 】

どちらも最高のお手本となる姿を近くで見ることができたことで、走るときの腕の振り方やフォームに変化が見られたり、ボールに意欲的に向かっていたりする姿が見られた。高度な技術に触れる機会を設定したことで、自分自身の技能の向上、運動への関心が大きく高まった。

## 3. 成果と来年度に向けて

体育の授業、休み時間に積極的に外に出て遊ぶとする姿から、児童たちは運動の楽しさや技能を追究することの面白さを実感し、運動に対する意識は向上していったと思われる。来年度も児童たちが楽しみながら自分の体力向上に励むことができるような工夫を1つでも多く取り入れていきたい。また、児童たちが主体となり、学校全体で運動に取り組めるような企画も計画していきたい。